

## 環境対策に「お墨付き」 三松・藤沢

Ads by Goooogle



環境省所管の地球環境戦略研究機関持続性センターが認証・登録する中小企業向け環境管理システム「エコアクション21(EA21)」を、藤沢町の金型など設計製造業三松(木村岩吉社長、社員30人)が本県で初めて取得した。この制度は企業の負担が比較的少ないことが特徴で、商取引に有利に働くだけでなく経費節減もできる。全国的に環境に配慮した企業体質を求める動きが強まる中、ニーズは高まりそうだが、知名度が低いのが現状。県環境カウンセラー協議会(藤本敬孝理事長)は19日、北上市で初のセミナーを開催し、制度の周知を図る。

EA21は企業の環境管理対策に「お墨付き」を与える制度。2004年10月、第三者による審査制度を設け、本格的にスタートした。本県では昨年9月、花巻市に地域事務局「銀河」(菊池統一代表)が設立され、動きだしたばかりだ。

EA21は既成のガイドラインに沿って①環境経営システムの構築②二酸化炭素や汚染物質の排出削減③環境活動報告書の作成—に取り組み、基準を満たすと認証される。

国際規格のISO14001と比較すると、登録にかかる費用は約10分の1(平均約30万円)。国際取引では通用しないが、ハードルは低い。

04年の新制度移行後、本県で初めて取り組んだ三松は、取引先から環境管理システムの構築を求められたことが取得のきっかけとなり、3月に認証された。

渋谷喜一工場長は「暖房費だけを見ても昨冬と比べて30%ほど削減できそう。従業員の省エネ意識も変わってきた」と語る。

同協議会は制度について理解を深めてもらおうと、19日午後1時半から北上市相去町の北上オフィスプラザでセミナーを開く。菊池代表は「商取引の関係上、必要性が高まってくる制度。企業の優良性を判断する材料にもなってくる」と受講を呼び掛けている。

セミナーでは菊池代表らが制度を紹介するほか、個別相談にも応じる。募集業種は産廃処理業、製造業、サービス業など。参加費は3000円。

問い合わせは銀河(0198・31・2884)へ。

【写真＝エコアクション21認定証を手にする三松の渋谷喜一工場長(左)ら】

### コンタクトセンターなら

企業と消費者をダイレクトにつなぐ、最先端技術と実績のトランスコスモス

[www.trans-cosmos.co.jp](http://www.trans-cosmos.co.jp)

### 積水化学の環境への取組み

環境保護に対する積水化学の取組みをご紹介します。

[www.sekisui.co.jp/eco/](http://www.sekisui.co.jp/eco/)

### 新発売SweetEpm(WFM、KPI)

CTI,CMS連携可能、管理指標分析 モニタリング評価、最適化シフト作成

[www.pw-s.com](http://www.pw-s.com)

### 尾瀬百景

尾瀬の美しさは国民的財産。“みんなの尾瀬をみんなでまもる”時代です。

[www.tepco.co.jp/oze/](http://www.tepco.co.jp/oze/)

このサイトに広告を掲載



